

2007年12月12日

記者各位

日本微生物防除剤協議会

「環境保全型農業シンポジウム」の開催について ～微生物防除剤が、日本の「農」と「食」をもっとよくなる～

日本微生物防除剤協議会は、2008年2月22日に「環境保全型農業シンポジウム」を開催しますので、お知らせいたします。

国の重要施策である「環境保全型農業」は、作物の生産性を低下させることなく、環境負荷の軽減をめざす持続的農業として、産官学が連携して推進しています。

本シンポジウムでは、「環境保全型農業」に対応する技術として注目される微生物防除剤を体系的に活用し、農作物の生産を実践している地域の推進事例を紹介します。

また、パネルディスカッションを通じて、「環境保全型農業」に対する取り組みの重要性と農産物流通関係者や消費者からみた期待・課題について議論します。

微生物防除剤を活用した「環境保全型農業」の全国的な普及をめざすシンポジウムです。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

＜微生物防除剤(微生物農薬)とは＞

もともと自然界に生息する有用な微生物を製剤化したもので、作物を病害虫から守ります。

＜環境保全型農業とは＞

農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業。
(農林水産省のホームページより)

1. 日時

2008年2月22日(金)

開場:10:00/開演:10:30/終了予定:17:20/情報交換会:17:30

2. 講演者

(1) 基調講演

中島 潔 農林水産省 生産局 環境保全型農業対策室 課長補佐

「環境保全型農業推進施策とこれからの日本農業」

(2) 特別講演(50音順、敬称略)

小泉 武夫 東京農業大学教授 「頑張っている農家の苦労を消費者も理解せよ」

百町 満朗 岐阜大学教授 「環境保全型農業における微生物防除剤の役割と展望」

小泉 武夫 氏
東京農業大学教授
醸造学・発酵学研究の
第一人者。「健康や老化の
防止は発酵食品に宿る」と
説く異色の博士。洒脱な
講演で人気沸騰。



百町 満朗 氏
岐阜大学教授
植物病害の生物防除
に関する研究、土壌
伝染性植物病原菌の
生理・生態に関する
研究のスペシャリスト



(3) 先進事例報告(順不同、敬称略)

- 黒木 修一 宮崎県農政水産部 「宮崎県における環境保全型農業の実践と展望」
岡林 俊宏 高知県農業振興部 「高知県における環境保全型農業の実践と展望」
豊嶋 悟郎 長野県野菜花き試験場 「長野県における環境保全型農業の実践と展望」
田口 義広 元岐阜県農林商工部 「施設栽培野菜における環境保全型農業の実践と展望」

(4) パネルディスカッション

① テーマ

「生産者」にとっての環境保全型農業、「消費者」にとっての食の安全・安心

② コーディネーター

西尾 健 法政大学教授

③ パネリスト(順不同、敬称略)

- 中島 潔 農林水産省 生産局 環境保全型農業対策室 課長補佐
黒木 修一 宮崎県農政水産部
岡林 俊宏 高知県農業振興部
豊嶋 悟郎 長野県野菜花き試験場
田口 義広 元岐阜県農林商工部
高橋 宏通 株式会社ジーピーエス 取締役事業本部長
内藤 英代 消費科学連合会 企画委員

3. 主催

日本微生物防除剤協議会(アリストライフサイエンス㈱、出光興産㈱、セントラル硝子㈱、多木化学㈱)

4. 後援

農林水産省、長野県、高知県、宮崎県、農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター、日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会、日本植物防疫協会、全国農業協同組合連合会、全国農薬協同組合、日本農業法人協会、日本バイオリジカルコントロール協議会

5. 場所

(1) シンポジウム会場

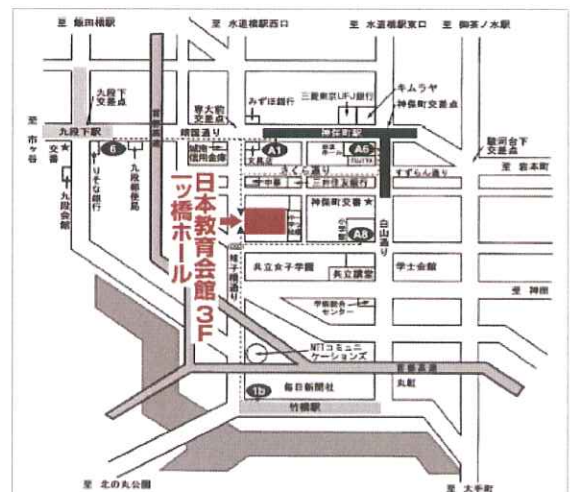
日本教育会館 一ツ橋ホール 3階
〔東京都千代田区一ツ橋 2-6-2/Tel:03-3230-2833〕

(2) 情報交換会会場

日本教育会館 9階 喜山倶楽部

(2) 交通のご案内

- ・地下鉄東西線 九段下駅(出口6)下車 徒歩5分
- ・地下鉄三田線 神保町駅(出口A6・A8)下車 徒歩5分
- ・地下鉄新宿線 神保町駅(出口A1)下車 徒歩2分
- ・地下鉄半蔵門線 神保町駅(出口A1)下車 徒歩2分
- ・JR水道橋駅西口下車 徒歩15分



【シンポジウム会場案内図～日本教育会館～】

日本微生物防除剤協会 事務局(土井) TEL:03-3829-1466

URL:<http://www.biseibutsu.jp/>

E-mail: support@biseibutsu.jp

報道関係者の方
のお問い合わせ

出光興産株式会社 広報室広報課(吉田) TEL:03-3213-3115

日本微生物防除剤協議会の概要

日本微生物防除剤協議会は、「微生物防除剤」の普及促進を目的として、2006年8月1日に設立しました。会員会社は、アリストライフサイエンス(株)、出光興産(株)、セントラル硝子(株)、多木化学(株)の4社で、アドバイザーは、社団法人日本植物防疫協会の岡田齊夫理事と東京農工大学大学院の国見裕久教授です。

日本微生物防除剤協議会・会員各社の概要

■ アリストライフサイエンス株式会社

資本金 : 192億円
代表者 : 代表取締役社長 クリストファー リチャーズ
事業内容 : 農薬・肥料・医薬品、医薬部外品、化粧品などの化学製品およびそれらの原材料の
売上高 : 1240億円(2006年12月期)

■ 出光興産株式会社

資本金 : 1086億円(2007年3月末現在)
代表者 : 代表取締役社長 天坊 昭彦
事業内容 : 石油製品の精製・販売、石油化学製品の製造販売、資源調達、農業分野など
売上高 : 連結3兆3947億円(2006年度実績)

■ セントラル硝子株式会社

資本金 : 181億円
代表者 : 代表取締役 社長執行役員 皿澤 修一
事業内容 : 各種板ガラス製品、化学品、ファインケミカル製品、肥料、ガラス繊維、微生物農薬・資材
売上高 : 連結1923億円(2006年度実績)

■ 多木化学株式会社

資本金 : 21億円
代表者 : 代表取締役社長 多木 隆元
事業内容 : アグリ事業(複合肥料、リン酸質肥料、加里質肥料及びその他肥料の製造、販売)
化学品事業(水処理剤、機能性材料、一般化学品及びその他化学品の製造、販売)
不動産事業(不動産の賃貸及び開発)ほか
売上高 : 連結281億円(2006年度実績)